



**令和２年度（第１２期）事業報告書
令和３年度（第１３期）事業計画書（案）**

**令和３年５月２３日
第１２回通常社員総会**



設立趣旨書

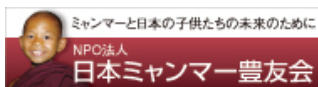
この法人は、「日本とミャンマーの子供たちの未来のために」を活動理念に掲げ、子供たちが共生共存できる、豊かで平和な世界の実現を目指し 13 年前に設立されました。

現在の日本の子供たちが、夢と希望をなくし、閉鎖状況の中で個人主義に走る現状を憂い、ミャンマーの子供たちを通して、心の豊かさとは何かを考えてゆきます。またミャンマーの子供たちには、勤勉に努力して技術や心を磨いてゆく日本人の古来のものの考え方を伝えてゆきます。両者の交流を通じて、人間ひとりひとりの幸せを大切に考えて行動できる、品性豊かな国際人創りを支援してゆきます。

令和 3 年 5 月 23 日

認定 NPO 法人 日本ミャンマー豊友会

設立代表者 近藤 秀二



令和 2 年度事業活動報告

令和 2 年度事業を終わるにあたって

先期はコロナ禍や、クーデターの勃発等で、現地訪問はできず、新たに雇用した現地の事務局員の ZawMin さんと ZOOM 会議を通じて懸念事項でありました PAO (Parami) 職業訓練所寄宿棟の建設支援と村の保育所を一棟寄贈いたしました。

1. 子供の健全育成をはかる事業

①保育園建設支援

2020 年 11 月 シャン州 Ngo Hla 村 保育園 1 棟

ドナー 三谷原理事をはじめとした高校生によるクラウドファンディング

対象園児数 100 人 建設支援費用 12,700,000kyat (100 万円)

②保育園メンテナンス調査

今期はシャン州の PAO 民族自治区に保育園の建設寄贈支援活動を始めて 11 年になるので、支援が適切であったか？修理箇所が発生していないか？保育円運営上必要なものがないか？

等の調査旅行を、和田理事と ZamMin 氏、現地 NGO の会長さんと担当 4 人で実施しました。

その結果、多くの保育園で、開園当初に寄贈したピアノが壊れ使い物になっていないので、新

しいものが必要とのことでありました。又園庭に遊具が欲しいというような要望などが出された。要望のあった三園で修理や園庭の遊具の設置を完了しました。いずれも開園時にご寄付をいただいた方々にお願いをして、再度メンテナンス費用のご負担をしていただきました。ピアノカについては次回訪問時に持ってゆくつもりにしております。

なお先期創作紙芝居「ポリアンナ」を日緬両国語で制作し、保育園に配布しました。

③そろばん授業の進展チェック。

一昨年、開園した保育園に隣接の小学校の先生方にそろばんを紹介し、用具一式を寄贈しました。その進捗状況をチェックするためと特別授業を行うために、インドへのビジネス旅行の途中に、タマイエデュケーションの社員さんたち5名が立ち寄り、先生方に補修授業をしていただきました。

④奨学金支援

① トンテ孤児院 日本語教育のための講師派遣。コロナのためいったん中断いたしました。

② トンテ孤児院 大学生のための「あしながおじさん」タイプの給付型奨学金支援

トンテの通信大学生9人27万円（1年間3万円、4年制12万円：今季0人）の給付となります。又、今期の新入学生は9月に報告が来ます。先般の豊友会の皆様には36万円のご浄財をご寄附いただきました。今後はできるだけ写真や将来の希望を観ながら会員の皆様に決めていただき大学の学費をもっぱらとし、4年12万円のご寄付をお願いしてまいりたいと存じます。ただし孤児院の生徒の、日本語4級進級テスト（N4）の試験代と交通費は制度化してゆくつもりです。2級までは無料で教えてください。日本語学校があるので、会員の皆様の採用の為にも有用ではないかと考える次第です。

③ PAO族3高校区における返済型奨学金

一校区100万円の基金で、事業が回っておりますが、次回訪問時に再度監査させていただこうと考えております。

2. PAO職業訓練所の支援活動

一昨年11月のスタディーツアーの帰途、PAO少数民族区のNPO組織パラミの建設途中の研修棟施設を見学し、その志と今後の運営方針をお聞きしてまいりました。私どもも異業種交流会を母体として出発しておりますので、その趣旨に賛同し、昨年度は寄宿棟の建設にODA予算を獲得して、支援させていただくつもりで、申請書を書きましたが、外務省のスキームと会わず、私どもの別途積立金を取り崩して送金をいたしました。しかしコロナやクーデター等予想外のことがおきて、工事中断のやむなきに至っております。現在4階の天井を張るだけという段階に至っております。今後の支援方法は今期の方針に提案させていただきます。厨房・食堂棟も出来上がっておりますので、今月中には工事は一旦完了すると思われます。授業は日本語のオンライン授業だけは23名の生徒さんで3月中旬の出発いたしました。現在中断中です。

3. インレイ湖畔環境保全事業

インレイ湖東岸 Maing Thauk 村にてゴミ焼却炉稼働率向上の指導及びゴミ分別教育の実施
インレイ湖畔で展開していたゴミ拾い活動の支援から始まった環境美化活動、教育は40か所のゴミ箱の設置から、リソナ財団の支援をいただきながらの焼却炉設置それに伴うゴミの分別収集

資料等の提供を続けてまいりましたが、村人の分別作業の混乱が尾を引いており、再構築が必要な状況です。重油代やボランティアの方に若干の手当等を予備費から支出しました。

4. 国際交流支援事業(視覚障害者支援事業)

2020年度はコロナ感染症の影響により2020年4月30日に、ミャンマー政府より閉店命令が発出されました。その後政府への開業嘆願書を作成し、提出しましたが、開業の許可は出ませんでした(2021年5月1日:地域事務所(閉鎖中)責任者に電話にて開業許可受理)。

視覚障害者の収入が途絶える中、住宅の手当てを行うとともに往診希望者への対応とマッサージボランティアの実施を行いました。

住宅代:1か月60万チャット(1階施術室・2階宿舎)

食事代:往診代と視覚障害者への支援で対応

2020年度の主な活動は

- ①日本式マッサージのマニュアル作り
- ②マニュアルを基に指導者の育成
- ③医療従事者へのマッサージボランティアの実施

2020年12月19日から感染症専門病院であるウェーバーギー病院 Wai Ba Gi Specialty Hospital (Infectious Diseases) May Darwi Rd., Corner of Dhama Thukha St., Wai Bar Gi Ward (8), North Okkalapa, Yangon, Myanmar. でボランティアを実施しました。

COVID-19の治療で疲れをためていらっしゃる医療スタッフに無料でマッサージを致しました。

世界的にCOVID-19が広がり、多くの国で医療従事者に様々なストレスがかかっています。

ミャンマーでCOVID-19が見つかったから長い月日が経ち、あと何ヶ月苦しい状況が続くかわからないのが、医療スタッフに更なる不安を募らせることでしょう。

適切な休養無しに、長期間心身にストレスを与え続けて疲労を蓄積すれば、様々な病気を引き起こします。マッサージは感染症自体にはあまり期待できませんが、心身の疲労に対しては効果的であり、また、応援している人がいると言うだけで心がいくらか安らぐことと思います。

これまでに8回を終えて、延べ88名のマッサージをしました。

喜んで頂いていることに、こちらも喜びを感じております。

日本人医師、ミャンマー人医師の確認、指導を得て、感染しない、感染させないように気をつけながらマッサージをしました。

風通しの良い広い場所で、密閉と密集については十分に対策を講じて実施しました。

今後も、気を付けて、過度に恐れず、大きなやりがいを感じて、自らの意思でマッサージに行っておりますので、見守っていただけたらと思います。しかしながら現在はクーデター発生の為、中止をしています。

訪問日	参加人数	訪問日	参加人数
2020年12月19日	14名	2021年1月12日	3名
2020年12月22日	10名	2021年1月20日	15名
2020年12月25日	5名	2021年1月27日	14名
2020年12月30日	13名	2021年2月3日	クーデターの為キャンセル
2021年1月6日	14名	合計	88名

令和2年度総会/理事会開催報告

2 年度 総会・理事会の開催 議事録

	日程	参加 人数	場所	目的	議案
1	2020/5/18	9	ZOOM 会議	理事会	1. 年会費の変更について 2. 特定資産(積立)について
2	2020/6/4	8	ZOOM 会議	総会	1. 令和元年度事業報告承認 2. 令和2年度事業計画案 承認 3. 特定資産(積立)について 4. 理事1名追加(三谷原新理事)
3	2020/9/11	8	ZOOM 会議	理事会	1. パオの職業訓練所の宿泊施設の建設 2. 現地職員の採用と給金
4	2020/10/23	7	ZOOM 会議	理事会	1. パオの職業訓練所の宿泊施設建設 状況について 2. 専従事務局員 Zawmin さんへの要望
5	2020/12/24	7	ZOOM 会議	理事会	1. パオの職業訓練所の講義について 2. 既設保育園の修繕報告



特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人 日本ミャンマー豊友会

[税込] (単位: 円)

令和 3年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債・正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		前受金	5,000
現 金	226,496	流動負債 計	5,000
普通 預金	4,558,566	負債の部合計	5,000
現金・預金 計	4,785,062	正 味 財 産 の 部	
流動資産合計	4,785,062	【正味財産】	
【固定資産】		正味 財産	10,193,157
特定資産	5,413,095	(うち当期正味財産増加額)	△ 3,396,411
固定資産合計	5,413,095	正味財産 計	10,193,157
		正味財産の部合計	10,193,157
資産の部合計	10,198,157	負債・正味財産の部合計	10,198,157



特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人 日本ミャンマー豊友会

[税込] (単位: 円)

令和 3年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金		226,496	
現金			
現地 (円)		0	
現地 (チャット円換算額)	429550 チャット	33,128	
本部小口現金 (円)		183,120	
本部小口現金2 (円)		0	
本部小口現金 (ドル円換算額)	93 トドル	10,248	
普通 預金			4,558,566
いちい信金		2,359,968	
ゆうちょ銀行		178,863	
郵便局 振替口座		958,333	
三菱UFJ銀行 中村公園前支		1,061,402	
現金・預金 計			4,785,062
流動資産合計			4,785,062

【固定資産】

特定 資産		5,413,095	
固定資産			
いちい信金		4,413,095	
郵便局 振替口座		1,000,000	
三菱UFJ銀行 中村公園前支		0	
固定資産合計			5,413,095
資産の部 合計			10,198,157

《負債の部》

【流動負債】

前受金		5,000	
梶谷 高美		5,000	
流動負債 合計			5,000
負債の部 合計			5,000

正味財産			10,193,157
------	--	--	------------



特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

特定非営利活動法人 日本ミャンマー豊友会

[税込] (単位: 円)

自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日

《経常収支の部》

[経常収支の部]

【経常収入】

正会員会費収入	530,000
賛助会員会費収入	0
寄付金収入	6,172,956
受取利息収入	103
雑収入	860,000

経常収入 計 7,563,059

【事業費】

地球環境保全事業	0
子供達の健全育成支援事業	9,165,162
国際協力支援事業	1,500,000

事業費 計 10,665,162

【管理費】

広告宣伝費	252,000
通信費	15,478
事務費	11,798
雑 費	15,523

管理費 計 294,799

経常支出計 10,959,961

経常収支差額 △ 3,396,902

[その他資金収支の部]

【その他資金収入】

為替差益	491
------	-----

その他資金収入 計 491

【その他資金支出】

為替差益	0
------	---

その他資金支出 計 0

当期収支差額 △ 3,396,411

前期繰越収支差額 13,589,568

次期繰越収支差額 10,193,157

財務諸表の注記

(注) 使途等が誓約された寄付等の内訳

	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
国際協力のための事業	1,210,799	1,600,000	1,500,000	1,310,799	
子供たちの健全育成支援事業	985,515	1,940,990	1,971,233	955,272	保育園等のための資金
子供たちの健全育成支援事業	8,154,800	4,000,000	6,741,705	5,413,095	特定資産
環境保全を図る事業	335,391	0	0	335,391	
合計	10,686,505	7,540,990	10,212,938	8,014,557	



令和3年度事業活動 重点指針

1. 命を救う医療、救援資金の提供

今期になってすぐの4月2日から救援資金の募金を始めました。理事さんが各個人の友人にメールを送ってアピールするという手作り運動です。4月末で合計120万円近くの募金が集まり、ミャンマーの個人や組織に半額の60万近くを送る予定になっております。現地では海外からの送金がチェックされているかもしれないのと、引き出しが一度に200,000チャット（約15,000円）ほどしかできないため、最初は用心深く実施しているためです。また本来「政治的な事柄」については「中立」であったため、組織的承認を得る前に3か所に個人的人脈を使って緊急に寄金を寄せてみました。受取先が確実に信用できると確信できたからです。しかし理事会に諮って了解を得ましたので、寄付者にも節税面のメリットがありますから、長期的に継続的に今期のメイン事業として取り組んでゆきたいと思います。

2. 保育園建設支援。

2018年の新入生からミャンマーの教育制度が新しくなり、主要4科目+音楽体育図工が加わりました。JICAを通して日本の文部省の日本型教育制度が導入されたわけです。したがって幼稚園もプレスクールとして位置づけられ、40坪ほどの大型化が一般的になりつつあります。保育園、幼稚園の寄贈がみなさんに大変わかりやすく、引き続きこの路線を維持したいと考えておりますが、今期は世界中の国々が新型コロナウィルスに汚染され、またクーデターで身動きが取れず、活動時間が制約されてきます。したがって実際的には昨季の調査の基づく、二番手候補の保育園を高校生主導のクラウドファンディングで支援をしたいと考えております。また開園時に贈呈したピアノや紙芝居の追加等ソフトの提供が待たれています。

3. 奨学金貸し付け及び給付型奨学金

給付型に転換するに際し、財源が問題であることは一目瞭然です。ひとりの支給者と一人の受給者をマッチングさせ、「あしながおじさん」として末永く支援してくださる仕組みにしてゆきたいと存じます。トンテ孤児院のケースをモデルとして、ルールも準じてゆきます。

4. 居住区の環境美化活動支援

ゴミ拾い活動の支援から始まったマインタック村の環境美化活動については、皆様もご存知のようにゴミ箱の設置から小型の焼成機の寄贈、試運転から二人の常雇も含めてテイクオフしたかのように見えました。ゴミの分別収集という点で村人の方々は慣れないために、様々な問題が発生し現在では、仕切り直しであります。できれば村落共同体のごみ処理のモデルとして実稼動にこぎつけていきたいものだと思っております。ゴミの仕分けで問題になっているところをもう一度整理し、今年度は仮予算として12万円計上（重油代、バイト代）予定です。

5. 視覚障がい者支援活動

先期はコロナ問題でセミナーは残念ながら中止いたしました。今期は視覚障害者の全国セミナー（ヤンゴン、ザガイン）の開催を予定いたします。コロナ禍で医療マッサージのマニュアルづくり、ミャンマー人の指導者育成を実施してきました。今後はミャンマー人による人財育成が定着するように考慮し

つつ視覚障害者の質の高い医療マッサージを習得するためとマナーを身につけることを目標としてゆきます。

6. 職業訓練所の寄付講座について

当初予定では日本語、日本式介護講座、ミシン洋裁講座、機械機器修理講座、電気溶接講座等を日本人講師の下、必要経費を負担して開設する予定でした。このうち日本語講座はオンライン ZOOM 講座で始まったのですが、ネット遮断により現在中断しております。5 月下旬に再開を予定しております。介護、洋裁も講師陣を固めていたところですが、現在のミャンマー側の状況下では、講師の皆さんの安全面等で進展は望めません。



令和3年度事業活動 収支計画

収入の部

前年度繰越金（積立金含む）	1 019 万円
会費収入	7 0 万円
寄付金	4 8 0 万円

小計 1 569 万円

支出の部

救援資金	5 00 万円
職業訓練所講座開設支援金	1 00 万円
新設保育園建設支援金	100 万円
幼稚園保育園改修支援金	3 0 万円
幼稚園保育園ソフト強化支援	7 0 万円
給付型新奨学金基金	5 0 万円
視覚障害者の自立支援事業	1 5 0 万円
環境美化活動支援金	20 万円
国内事業（写真展、講演会等）	5 0 万円
人件費（現地駐在員の給与）	48 万円
WEB 通信費及び管理費	12 万円
予備費	5 0 万円
雑費	5 0 万円
次年度繰越金	339 万円

小計 1 569 万円



主たる事務所

〒497-0004 愛知県あま市七宝町桂親田 2027 (株式会社タケダ内)

TEL052-443-9907 FAX : 052-444-2227

ヤンゴン事務所

NGO 代表 NI HTWE

No. 35/A, Boe Yar Zar Street Kyakkone Yankin Township Yangon Myanmar